

自己点検・自己評価報告書

本校は教職員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめた。

2025年5月29日に学校関係者評価委員会を開催し、当自己点検・自己評価報告書について承認を受けた。

注：昨年度評価より点数の変更があった場合は赤字/イタリックで表示している



学校法人翔陽学園
成田航空ビジネス専門学校

2025年5月29日作成

成田航空ビジネス専門学校

2025年5月24日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準1 教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められている。	4.8	理念・目的と育成すべき人材像を学校理念として再整理し、分かりやすくかつ具体的に示し、教職員・学生に 周知し、定着を推進した。
	学校の特色はなに。	4.8	航空・ホテル・観光業界を担うことが出来る、自立し実践的な人材を育成する。 1人1人の個性を見極めて、考える力とコミュニケーション能力を育てるよう指導した。
	学校の将来構想を抱いている。	4.8	航空・ホテル・観光業界で活躍出来る実践的な人材を育てる事により、社会的に信頼される専門学校を目指すとともに、社会の進歩発展に貢献することを明示した。
	全 体	4.8	
基準2 学校運営	事務管理費の効率的な支出を行う。	4.8	コストパフォーマンスに鑑み、引き続き、より効率的な予算執行を心がけた。 老朽化対応を中心に（修繕費等）適切に執行した。
	各種規程類の見直しおよび整備を行う。	4.8	関連法規の改正を踏まえて就業規則を中心に見直し、必要な改訂を行った。
	自己点検・自己評価の確実な実施と 第三者評価に対応した評価システムへのステップ アップ に対する準備	4.5	自己点検・自己評価は2013年度より継続して実施しており、ほぼ定着している。 2020年度より学校関係者評価委員会での審議を経て公開することとしたが、今後は分野別の第三者評価の体制および詳細内容を見ながら更に透明性の向上に努めたい。
	全 体	4.7	
基準3 教育活動	事務処理の迅速化・効率化。業務スケジュールをスタッフ間で共有し、お互いにサポートできる体制とする。	4.7	就職活動開始時期の早期化もあり、1年生の就職指導に向けて教務と就職指導で十分に情報共有に努めた。
	英語力アップ。	4.4	引き続き英語を重点教科として力を注いでおり、概ね順調に推移した。しかしながら、積極的に取り組んで成果を上げる学生と、英語学習に熱意を持てず成果を上げるに至らなかった学生とに二分する傾向が続いている。
	就職に役立つ各種検定・資格取得を積極的に受けるよう指導する。	4.6	概ね順調に推移している。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2025年5月24日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
	授業内容を強化する。	4.7	学生および担当講師による授業アンケートを例年通り実施し、担当講師による自己評価も合わせて実施することで授業品質の向上を図った。
			就職活動の早期化に伴い、夏期講習を実施するなど就職試験対策を前倒しするとともに、就活関連授業を強化した。
	カリキュラムの内容を、コースの目標を達成する為により実践的な内容にupdate する。	4.6	2024年度より開始する、実習活動を強化したグランドハンドリング新コース(GHプラス)開設に向け、履修要件の整理と新規開講科目を進め、無事に開講に繋げた。
			就活研究セミナーについて、就職試験対応を含む就職活動に役立つ実践的な知識・技能を身につけさせるよう改善しているが、採用時期が前倒し、集中化する傾向もあり、更にきめ細かく対応していく必要がある。
全 体		4.6	
基準4 教育成果	資格取得率の向上が図られている。	4.6	航空・観光分野、とりわけ接客分野での採用が旺盛であり、各種検定・資格取得試験を受験するインセンティブにも影響して概ね順調に推移した。
	退学率の低減が図られている。	4.6	退学者は3名(2.5% 進路変更3名)と概ね例年並みの水準であった。
	全 体	4.6	
基準5 学生支援	「2023年度 年間計画表」に基づいて実施。	4.7	教育支援ICT”Info Clipper’を安定的に活用した。新機能の活用に向けて更に啓蒙活動を継続する。
	より密度の高い学生支援の実施	4.8	3クラス編成を維持し、担任一人あたりの学生数を20名前後に抑えることで、よりきめの細かい学生指導・学生支援を実現した。
	就職率達成目標(100%)を目指す。	4.8	コロナ禍の反動も含めて航空・観光業界の採用が旺盛であり、従来以上に前倒しで内定が出される状況であり、結果として就職率は100%となった。
	就職指導の効果的・効率的実施	4.2	航空会社系企業の採用活動が更に前倒しされると共に同時期に集中したことで、ES添削や面接指導など就職指導への負荷が高かった。今後も当面はこの状況が続く見通しであり、更に見直していく必要がある。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2025年5月24日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準5 学生支援	クライアントの定期訪問と新規開拓の実施。	4.4	企業訪問は可能な時期に纏めて実施し、年間を通してメールや電話で頻繁に連絡を取り情報共有を行った。
	CA合格者	4.6	2024年度卒は4名がCAに採用された。
	全 体	4.6	
基準6 教育環境	学校を取巻く環境の変化に伴う、学校施設（教室備品等）および、規則（利用、運用規則等）等の検討整備を行う。	4.7	収支状況が厳しいこともあり、老朽化した設備・備品を適切に修繕して利用した。
			“infoClipper”について、成績データのまとめと保護者向け連絡事項伝達を中心に新システムの活用を進めており、最終的には保護者と連携して欠席率の通減と学習意欲の向上に繋げていく。
	全 体	4.7	
基準7 学生募集と 受け入れ	専門学校の定員を確保する。	4.2	航空・観光業界の復調に伴い、オープンキャンパスへの参加者数も大きく伸び、結果として受験者数も大きく増加した。残念ながら辞退者も5名と例年になく多かったが、それでも新入生は70名と前年の40名から大幅に増加するに至った。
	オープンキャンパスは平日は随時受付、平日夜間・土曜にも開催し、生徒・ご父兄の利便を優先して柔軟に対応する。	4.6	「何でも相談会」として学校各部門の担当者も参加するオープンキャンパスを開催するなどの新機軸も加えることで、大幅に動員数を増加させることができた。
	高校内での学校説明会・留学生対象の説明会への参加	4.6	高校ごとに訪問担当者を固定し、定期的に訪問することで、高校の先生との信頼関係を維持している。
	紙媒体を減らし、ホームページ、SNSを活用する。	4.4	Instagramを中心としたSNSを有効活用し、高校生向けに身近な話題を多く提供、学校の魅力をアピールできた。 また、新たに「LINE」の公式アカウントを作成し、高校生に積極的に「お友達登録」してもらうことで、気軽に問い合わせできるようになった。
	学校訪問のプライオリティー付け。	4.6	重点校に対して2024年度より指定校推薦制度を導入することとした。本制度利用の志願者も初年度3名、次年度6名と順調に伸ばしてきている。
	全 体	4.5	
基準8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。	4.0	2024年度の学生総数は大きな赤字を出した前年度より19名減の厳しい状況であったが、新入生を対象に授業料と入学金を値上げするとともに、常勤教職員の退職者の補充を控えることなどの様々な方策を講じることで、学校法人としては前年度並みの赤字に抑制することができた。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	4.4	厳しい収支状況ではあるが、必要な投資は行うなど学校運営の品質には影響がないように配慮している。なお、2024年度はほぼ予算どおりの執行で推移するとともに、2025年度は黒字化を見通している。
	全 体	4.0	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2025年5月24日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準9 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	4.8	法令、設置基準に抵触する事例はなく、適正に運営した。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	4.7	個人情報を取り扱う部署に対する教育・指導を実施し、情報漏えいは発生しなかった。
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている。	4.8	各年度始めに事業計画を策定し、年度を通じて着実に施策を実施していくことにより課題の克服と改善に繋げている。2013年度より教職員による自己点検・自己評価を継続して実施し、2020年度よりは学校関係者評価委員会で審議頂くことで透明性と客観性の確保に努めている。
	自己点検・自己評価結果を公開している。	4.8	自己点検・自己評価の結果をホームページで公表している。
	全 体	4.8	
基準10 社会貢献	地域の行事に積極的に参加し、活性化に寄与すると共に学生に社会との関わりを認識させる。	4.6	成田祇園祭りの山車曳き、公津未来祭りなどに積極的に参加した。
	英会話教室等を開設し、国際人を育てる事に貢献すると共に、企業等に対してもマナー教育、語学研修等を行い社会貢献している。	4.4	周辺地域の成熟化が進み子供の人数が減少してきている状況ではあるが、幼児・小学生会員の減少は底打ち感が出てきている。
			会員のご要望に柔軟に対応することでプライベートレッスン受講者数を増やしている。また、同様に柔軟に補講対応するとともに、他教室からの転入促進を図ることで入会者増加に努めている。
	フォークリフト技能講習のための成田フォークリフト教習センターについて安定運用を図る。	4.6	フォローアップ営業等によりリピーター獲得に努めるとともに、資格保有者に対する安全講習を開始した。
			受講者数は9%増の247名で20名増に留まったが、外国人労働者、特に航空関連では技能実習生が大きく増加し、外国人のFL教習受講者が昨年より3割増加したことで、収入ベースでは大きく(+16%)増加した。
	全 体	4.5	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

自己評価における特記事項

自己評価は学校経営目標・運営実施目標に基づく業務実施計画書に年度達成目標が、どの程度達成されているかを分野別に抜粋したものです。

※資料1 専門学校学生数の推移

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
入学生	80	84	78	51	65	40	71
進級者	52	76	74	67	53	59	42
在籍数	132	160	152	118	118	99	113

※資料2 2024年度卒業生就職先

CA	スカイマーク	2	AIR DO	2
			小計	4
GS	JALスカイ	12	ANA新千歳	1
	JALスカイエアポート沖縄	1	空港ターミナルサービス	1
	ANA成田エアポートサービス	5	NAAリテイリング	1
	ANAエアポートサービス	5	JAL-DFS	1
	羽田空港国際旅客サービス	1	やまきプロパティ	1
	エコーパートナーズ	1	小計	30
AC				
			小計	0
GH	日本空港サービス	2	JALカーゴハンドリング	1
	JALグランドサービス	7	ゼネラルサービス	1
	ANAエアポートサービス <グラハン>	3		
			小計	14
HT	日本ホテル	5	ミリアルリゾートホテルズ	1
	共立メンテナンス	1	インターコンチネンタル台中	1
	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	1		
	ニューオータニ幕張	1		
			小計	10
その他	BRI	1		
			小計	1
合 計				59

※資料4 収益事業(成田FL教習センター)受講者数

コース	2023		2024	
	回数	人数	回数	人数
11H	7	16	11	22
31H	34	150	29	158
35H	12	20	11	25
44H	8	61	13	109
合計	61	247	64	314

※資料3

資 格			2023年度生		2024年度生	
英語	TOEIC	700以上	6	11%	8	20%
		600-695	5	9%	0	0%
		500-595	4	8%	3	8%
		400-495	12	23%	5	13%
		395以下	1	2%	6	15%
	英検	1級	0	0%	0	0%
		準1級	1	2%	1	3%
		2級	32	60%	19	48%
		準2級	14	26%	10	25%
3級		2	4%	2	5%	
中国語	HSK	1級	1	2%	0	0%
		4級	0	0%	0	0%
韓国語	ハングル能力検定	3級	0	0%	0	0%
		2級	0	0%	0	0%
日本語(留学生対象)		1級	0	0%	1	3%
PC	PCⅡ種	1級	0	0%	0	0%
		2級	0	0%	0	0%
		3級	0	0%	0	0%
	Amadeus	中級	0	0%	0	0%
		初級	0	0%	0	0%
サービス	サービス接遇検定	準1級	1	2%	3	8%
		2級	21	40%	2	5%
		3級	0	0%	1	3%
	ホテル実務 Basic 2級		1	2%	0	0%
	日赤救急法		0	0%	0	0%
	サービス介助士		20	38%	5	13%
	IATA DIPLOMA		0	0%	0	0%

※資料5 収益事業(English House)会員数(年度末実働数)

	2021	2022	2023	2024
合計	451	398	388	375
幼児	54	48	39	44
小学生	209	184	180	189
中学生	115	88	82	74
成人	73	78	87	68